

科目名	社会学	担当者	服部 慶巨	部別	大宮	期間	通年	単位数	4
-----	-----	-----	-------	----	----	----	----	-----	---

【授業概要】

〔授業目的〕	人間は、一人で生きてゆくことの出来ない弱い存在である。故に、共同生活を営む者（仲間）が必要不可欠となる。また、社会生活は（必ずしも）自分の思い通りにゆくものではない。このような現実を、理論的・実践的に理解していきたい。
〔履修条件〕	特になし
〔授業方法〕	受講生自身も陥りがちな問題行動を例示し、講義する。教科書・参考書・プリント・板書を理解の助けとする。
〔評価方法〕	学年末試験（80%）と平常点（出席状況10%、受講態度5%、小レポート5%）により、総合的な評価をする。試験は論述式で実施する。
〔教科書〕	池田勝徳（編著）『社会学的アプローチ 社会の諸相を把握する』新泉社
〔参考書〕	追って指示する

【授業区分】

区分	授 業 内 容	区分	授 業 内 容
1	ガイダンス（講義の方針、展開方法、目標など）	16	問題行動の根源 「問題行動」のとらえ方
2	状況（情況）判断	17	問題行動の根源 Communis 的問題と常識
3	社会（学）とは何か？	18	問題行動の根源 他人志向と同調行動
4	社会的動物としての人間 Double Happiness	19	問題行動の根源 逸脱
5	社会的動物としての人間 生理的早産	20	問題行動の根源 行為と行動
6	Human Being（人間とは何か？）	21	問題行動の根源 共感性の欠如と逆ギレ
7	人間関係の諸相と構造 総論	22	問題行動の誤対処 人間関係とストレス
8	人間関係の諸相と構造 地位（status）	23	問題行動の誤対処 非日常性
9	人間関係の諸相と構造 役割（role）	24	問題行動の誤対処 アノミーと犯罪
10	「らしさ」の培養 文化（culture）	25	問題行動の誤対処 コーピングの必要性
11	「らしさ」の培養 パーソナリティ（personality）	26	問題行動の誤対処 癒しブームの落とし穴
12	「らしさ」の培養 ジェンダー（gender）	27	視聴覚機器による問題行動の理解
13	「らしさ」の培養 アイドル（idol）工学	28	視聴覚機器による問題行動の理解
14	実験演習	29	実験演習
15	前半まとめ	30	まとめ